［認知症対応型共同生活介護用］

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月29日

【評価実施概要】

事業所番号	３７７１７００７７４
法人名	有限会社　オバタ
事業所名	グループホーム高瀬
所在地	香川県三豊市高瀬町新名１４７６－１ （電　話）0875－73－3443

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成２０年６月２７日	評価決定日	平成２０年７月２９日

【情報提供票より】（ 20年4月1日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	昭和・平成　　14 年　5月　6日	
ユニット数	2ユニット	利用定員数計　　18人
職員数	15人	常勤　6人　非常勤　9人　常勤換算　7．3人

（2）建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2階建ての1階～2階部分

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	30，000円	その他の経費（月額）	16，500円
敷　　金	有（　　円）	無	
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（　　円） 無	有りの場合 償却の有無	有／無
食材料費	朝食　250円	昼食	500円
	夕食　500円	おやつ	100円
	または1日当たり　　円		

（4）利用者の概要（ 4月1日現在）

利用者人数	18名	男性　3名	女性　15名
要介護1	8名	要介護2	3名
要介護3	4名	要介護4	2名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢　平均	82．5歳	71歳	最高　89歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	三豊市立西香川病院　　岡部医院　　つづき歯科医院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高瀬川のほとりにあり、周囲は田園に囲まれた地域の中に、木造風に整えられた建築物で地域に溶け込んでいる。ホームの理念である「憩いと安らぎ、そして笑い声」を日常生活の中で実践している。また、管理者の地元でもあり、地域との結びつきも強く、地域行事への参加や散歩などでの入居者と地域住民との交流にも積極的に取り組んでいる。入居者の所持品（馴染みの品）などで環境を整え、横で座って話したり、一緒に歩くなどの寄り添うケアを実践している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①

前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）

前回の評価で課題であった「職員の事業所外での研修参加増」に対して、職員の研修参加を多くすることに取り組んでいる。また、職員の質向上にむけて職員会議の開催回数を増やしている。その他についても、運営推進会議や職員会議を活用し取り組みを継続している。

今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）

自己評価項目を運営者、管理者、職員に別けて、それぞれが意見を出し、かつ職員会議で議論するなど、独自の取り組みにより、自己評価を最大限に活用しようと努力している。

重点項目②

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）

日常生活の活動状況や行事企画などの議論だけでなく、職員の就労問題を議論したり、ターミナルケアや自立支援などについての学習会を取り入れたりすることで、幅広く内容の濃い運営推進会議を実施している。

重点項目③

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）

写真入りで、非常に生活状況が分かりやすい近況報告書を2か月ごとに送付している。また、面会時には必ず声をかけ、近況を報告するとともに意見の聴取を心がけている。家族会の設置も運営推進会議で継続的に議論し、実現へ向けて努力している。より家族の意見、苦情、不安など確認するためにもアンケートや満足度調査の実施が望まれる。

重点項目④

日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）

管理者の地元でもあり、地域との結びつきも強く、地域への働きかけは積極的である。地域行事への参加や散歩時の挨拶、ボランティアの来所による交流などを積み重ねることにより、入居者と地域住民との交流がさかんになってきている。ホームとの交流があるエリア（地域）の拡大を目指し、運営推進会議で話し合われている。

2.　評 価 結 果（詳細）

（ ▒ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
１．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「憩いと安らぎ、そして笑い声」という開設時より一貫した理念で、家族、地域にも理解してもらいやすい言葉にしている。事業者の意義、役割が明確に表現され、入居者の生活の軸となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼での唱和により浸透し、今では理念を常に実践へと結びつけられるようになっている。パンフレットやホーム内の掲示に大きく掲げることで、職員だけでなく家族や地域住民とも理念を共有しようと努力している。		
２．地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者の地元でもあり、地域との結びつきも強く、地域への働きかけは積極的である。地域行事への参加や散歩時の挨拶、ボランティアの来所による交流などを積み重ねることにより、入居者と地域住民との交流がさかんになってきている。		
３．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価での課題に対して、事業所外の研修参加や職員会議開催回数を多くするなど、改善に向けて取組んでいる。また、前回の残された課題や今回の自己評価について、運営推進会議や職員会議で話し合うなど取り組みを継続している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日常生活の活動状況や行事企画などの議論だけでなく、職員の就労問題を議論したり、ターミナルケアや自立支援などについての学習会を取り入れたりすることで、幅広く内容の濃い運営推進会議を実施している。	○	議事内容の充実により、サービス向上に着実につながってきている。今後は、より一層地域に密着した運営推進会議の運営に期待したい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への参加などだけでなく、市役所へその都度訪問し、交流、連携に努め意見交換する中で、指導を受けたり情報を得ることにより、サービスの向上へとつなげている。		
４．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	写真入りで、非常に生活状況がわかりやすい近況報告書を2か月ごとに送付している。また、面会時には必ず声をかけ、近況を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を玄関の分かりやすいところに設置し、意見を求めている。また、面会時には必ず声をかけ、近況を報告するとともに意見の聴取に心がけている。家族会の設置も運営推進会議で継続的に議論し、実現へ向けて努力している。	○	家族の意見、苦情、不安などをより確認するためにもアンケートや満足度調査の実施が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限度に抑えるように管理者は努力している。やむを得ない場合は、時期や引継ぎ面での配慮をしている。		
５．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム外での研修に職員が積極的に参加できるようにしている。また、職員会議の開催回数を増やしたり、職員の質向上に努めている。現場においては、ケアマネージャーが場面でのアドバイスを出したりして、現場での質の向上にも取り組んでいる。	○	増加した職員会議を活用するなどで、職場内研修を充実させ、より一層の資質向上に期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設外研修の場やグループホーム協議会の活動などで、管理者だけでなく職員にも交流の機会が増え、そこで得た情報をホームの質向上につなげている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	早期に馴染めるように事前の面接を重視し、入居者の状態把握や馴染みの所持品持参などに配慮した入居援助をしている。また、馴染めるまでの期間は、より一層「寄り添うケア」を心がけ深くかかわるようにしている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの理念である「憩いと安らぎ、そして笑い声」を基本として、横に座って話しをしたり、散歩で一緒に歩いたり、共同制作を通じ、共に過ごす関係を実践している。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族の要望をより把握するために、職員全員で意見を出して情報収集に努めている。	○	アセスメントシートを最大限に活用し、本人・家族が自ら表出した思いや意向を把握するだけでなく、隠れた思いや意向を確認しながら、本人・家族が表出できやすい支援の取り組みが望まれる。
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	計画に対しても職員全体が意見を出し、よりよく暮らすための議論をしている。また、計画が実際の援助につながるように目標などピックアップし、全職員が確認しやすいような用紙を作成するなど、ホーム独自の工夫をしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに計画を見直し、追加、修正などを行なっている。また、必要時にはその都度計画の変更をしている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買い物や個別外出、家族との外出など、本人や家族の要望に応じて柔軟な取り組みが行なわれている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力病院と連携し、必要な医療が受けられるように支援している。また、本人の希望によりかかりつけ医への受診や往診などへの援助も個別に対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針も整備し、看取りが行なえる体制を整備している。また、かかりつけ医や訪問看護師との連携を強化し、本人、家族との話し合いの中で終末期への取り組みを展開している。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室は、戸締りやカーテンの使用によりプライバシーに配慮した環境を整えている。ケアの場面でも、入浴時のタオル使用など細やかな配慮がなされている。記録などについてもスタッフルームで適切に管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が自分らしく過ごせるように希望した内容の支援に努め、職員の見守りと工夫の中で自由に過ごしており、自由な外出やユニット間の行き来など、楽しみながら生活できるように支援している。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立や食材は、利用者と考えたり、畑で取れた食材や地域で水揚げされた魚などを活用して季節を味わう食事にしている。また、食事の準備、片づけを共に行なうことにより、食事を一緒にする支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、午後からの入浴と設定しているが、個別対応として朝からでも入浴が援助できるように柔軟な対応をしている。また、入浴を嫌がる人に対しては強要せず、声かけを工夫した誘導により、自らの意思で入浴をして貰えるように努めている。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯や掃除、調理、片付けなどの役割や、散歩や折り紙などの楽しみごとを支援するように努めている。	○	本人の趣味、生活歴などをより活用し、潜在的にある能力を引き出せるような、より一層の支援を期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの習慣やその日の気分に対応し、積極的な外出支援を展開している。常に玄関のドアが開放されているので、利用者の気分に圧迫感を感じることなく外出できる。		
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけることはない。鍵をかけないだけでなく開放している。居室も鍵をかけることもなく、開放的である。開放した部分への配慮としてカーテンを設置している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	多岐にわたる各種のマニュアルが整備され、事故報告書、ヒヤリハット報告書も適切に準備している。また、避難訓練も定期的に実施している。設備的にも、熱感知器、煙感知器、消火器が適切に整備されている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量、水分量を観察し把握している。また、利用者の表情や状態の観察管理はできており、職員全員の健康管理に対する知識と意識を持ちながらの支援が行なえている。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木のぬくもりを大切にし、落ち着いた雰囲気となっており、清潔で整頓され、高齢者にふさわしい空間づくりに努めている。周囲の自然やホームの畑が身近にあり、安心して暮らせる配慮がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者が使い慣れた日用品が持ち込まれており、写真や小物などその人らしい生活が営めるように工夫している。居室前に木製の表札を掲げることにより、利用者自身の部屋（家）として存在を維持している。		